

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<エントリーシート>	部門	学校名・氏名
※事務局記入欄 No.: A-7	平成29年度学校組織マネジメント指導者養成研修	熊本県立八代工業高等学校 増田 健治
	活動名 強みを活かす集団づくり (12文字以内) 学校組織マネジメントの当事者になろう!! (16文字以内) ※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える案件名を記入してください。	

課題の設定: ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか? 視点などを含めて記載してください。

(課題) 年度初めに掲げられる教育目標についての認識が浅いことが第一に上げられる。そして、自校の「強み」と「弱み」について、個々の教員がそれぞれ漠然としたイメージとして持っているものの、共通の言語として認識されておらず、せっかくの「強み」を打ち消し合い、「弱み」を増長しあっている面がある。さらには、学校組織マネジメントに関する研修の機会を得ていない職員については、その重要性についての理解が乏しい面がある。

(目標) 自校の「強み」と「弱み」を共通の言語で認識し、すべての教職員が組織的な教育目標の実現に向けて「弱み」を補い合い、「強み」を高め合えるチームワークを育む。その上で、全ての教職員が学校組織マネジメントを担う当事者であることを再認識する。

方針・計画: ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

教育目標と自校の「強み」がどの程度リンクしているのか、また「弱み」がどの程度目標達成の阻害要因として存在しているかを、言語的かつ視覚的に共通認識することができれば、個々の教職員が組織の一員として前向きな役割を果たしやすくなるのではないかと。さらには、学校組織マネジメントの意味や意義についての講義を行うことにより、個の努力と能力に頼りがちであった旧来の体制から、組織力を重視した教職員集団に変化していくことの意義とその必要性を見いだし始めるのではないかとという仮説を立てた。

活動内容: ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

自校の全教職員(定時制職員も含む)に対して、職員研修という形で取組んだ。まず、自校の教育目標を再認識すべく、関連するキーワードを各自付箋に思いつままに書き出し、これを分析シート(広用紙)に整理しながら貼り付ける。次に、自校の「強み」と「弱み」について同様に書き出し、教育目標と関連付けながら分析シートに貼り付け、グループ内で協議分析を行う。最後に、グループ毎に得られた分析結果を発表あった。まとめとして、学校組織マネジメントについての基本的な講義を行い、活動内容を研修の目的目標と重ね合わせた。

活動の成果: ※課題や目標に対し、どんな影響、変化があったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

グラフ1は、研修実施後にとったアンケート結果である。Q1~Q3について、およそ9割の教職員から肯定的な回答が得られた。Q4については、15%の職員が「とても高まった」と答え、「まあまあ高まった」と答えた割合も70%に及んだ。「弱み」はいくらでも出てくるが、それを改善するには?を考えるといい機会だった。初めての内容で興味が湧いた。「強み」を活かす雰囲気が高まれば、仕事が楽しくなるなどといった肯定的な声も聞かれた。建前ばかりで本質が見えないという厳しい声もあったが、全体的には、「強みを活かす」というプラス思考傾向が高い集団への期待は大きいと感じた。また、Q4,5に関しては補足的に調査したものだが、比較的自身のスキルアップに対して意欲関心が高い集団であることが分かった。今後の取組に活用していきたい。

アピールポイント(アイデアや工夫): ※3~5つ程度の箇条書きしてください

○教職員支援機構での研修成果を踏まえた上で、学校長や教頭と研修の狙いと目標を共有し、指導助言を仰ぎながら企画した。○研修後、理屈ではなく気持ちの上で、前向きな姿勢になっていただけを最大の狙いとして研修内容を構築した。○気の合う仲間や意識の高い職員を巻き込み、事前の準備やグループ分け等の業務を分担した。○可能な限り難しい文言は控えた。使用したとしても分かりやすい解釈を心がけた。

1 研修プレゼン資料(一部)



図1 本研修の目標とゴール

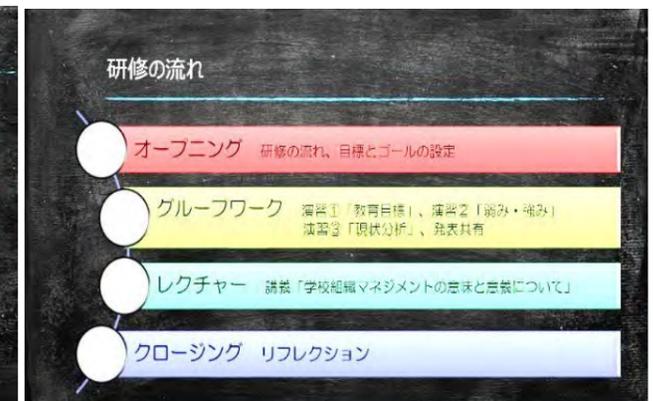


図2 研修の流れ

2 研修の様子



参加者は管理職と全日制、定時制の職員合せておよそ100名。こういった雰囲気になるか不安だったが、近年ワークショップ形式の研修の機会も多くなっており、和気藹々と円滑に進行することができた。本校に赴任して8年目になるが、学校組織マネジメントに関する研修は初めてだと記憶している。

3 研修後のアンケート結果

- Q1 本校の教育目標や重点的取組について、再確認する機会になりましたか?
- Q2 本校の「強み」や「弱み」について認識する機会となりましたか?
- Q3 学校組織マネジメントの意味や意義について、理解できましたか?
- Q4 学校組織マネジメントや学校改革に取組む意欲は高まりましたか?
- Q5 自分の教育的スキルやノウハウ(失敗を含む)を他の先生と共有することに対して積極的ですか?
- Q6 自分の教育的手法に対して、他者から指摘を受けることについてどう感じますか?

